

## 「在日米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※ 総合開発特別委員会（平成20年12月11日）以降の経過

12月8日（月）～12日（金）

- 8日に米軍再編に係る千歳基地への訓練移転の実施に関する現地説明会を開催。
- 米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）が実施される。

12月15日（月）

- 最後の米軍2名帰還（民航機使用）。
- 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所。

12月18日（木）

- 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」を開催。

1月14日（水）

- 「山口県見島沖におけるF15緊急脱出」に関わる航空事故調査結果概要が通知される。

1月23日（金）

- 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議を開催し、訓練実施内容を報告。

1月28日（水）

- 米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）に関する平成21年度計画が通知される。
- 苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催し、米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）の実施経過及び内容の説明を行う。

2月13日（金）

- 米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要の地元通知。

2月23日（月）

- 現地説明会における「沖縄の負担軽減」資料要求に係る口頭説明。

21. 1. 14  
航空幕僚監部

## 「山口県見島沖F-15緊急脱出」に関わる航空事故調査結果概要について

## 1 これまでの経緯

## (1) 事故の概要

発生日時：平成20年9月11日（木）16時4分頃  
（操縦者の緊急脱出：16時20分頃）

発生場所：山口県見島南西約30kmの洋上

気象：晴れ

部隊：西部航空方面隊第8航空団第304飛行隊（築城基地）

機種・機番：F-15J 72-8883号機

任務：練成訓練（対戦闘機戦闘訓練）

事故状況：事故機は、山陰地方の北方にあるN訓練空域において訓練開始後間もなく、突然コックピット内のディスプレイ（レーダー画面及びヘッド・アップ・ディスプレイ）の表示が異常（点滅の後、表示が消失）となった。ほぼ同時に、エンジンの排気温度の異常（1000℃超）を知らせる警告音声が発生したため両エンジンの推力を絞った状態で飛行せざるを得ない状況となり、徐々に降下していった。操縦者はエンジンの異常燃焼を解消させるため、エンジンを停止させ、再始動を実施するも、エンジン推力を上げていくとエンジンの排気温度の異常を知らせる警告音声が再度発生した。その後エンジンの再始動を2回試みたが状況は解消せず、また、水平飛行に必要な推力を得るまでエンジン出力を上げることができず、機体はさらに降下していった。高度2,800フィートまで降下した時点で操縦者は緊急脱出し、機体は海没した。

## (2) 特別点検の実施

操縦者からの聞き取り等により確認した事故機に発生した事象（エンジンの排気温度の異常を知らせる警告音声、計器類の異常表示）から、エンジン系統、電機系統等の不具合が事故の直接的な原因として考えられたことから、F-15型機全機について、当該系統等の特別点検を実施した。

## (3) 判明事項等に関わる公表

海没した機体については、10月11日までに引き上げ・回収を完了し、回収したエンジン、発電機等の調査を実施した。

航空事故調査の過程において、回収したエンジンには、異常高温が生じた痕跡が認められないこと等から、エンジン不具合は発生していないことが確認され、また、操縦者からの聞き取り等により、左電源系統から電力供給を受ける計器類等に異常が生じ、右電源系統から電力供給を受ける機器は正常に動作していたことが確認されていることから、①左電源系統の供給電圧が低下し、さらに②左電源系統の制御装置が、これ

らの異常を感知し、左電源系統の電力供給元を右発電機に切り替えるバックアップ機能を適切に果たさなかったことが考えられ11月28日に判明事項等を公表した。

## 2 事故調査結果

### (1) 左電源系統の不具合原因

左電源系統の供給電圧の低下の要因は、左発電機の故障又は左電源線の故障（ショート）によると推定されるが、海面衝突時の衝撃等による左発電機の損傷及び左電源線の一部未回収（回収率約90%）のため、特定には至らなかった。

また、左電源系統の制御装置が故障し、左電源系統の供給電圧の低下を感知し、左電源系統の電力供給元を右発電機に切り替えるバックアップ機能が働かなかつた要因についても、海面衝突時の衝撃等による左電源系統の制御装置の損傷により、同装置の機能検査を実施できず、特定には至らなかった。

### (2) その他の原因

事故機の整備、事故機操縦者の操縦及び精神状態、飛行指揮等についても調査を行ったが、事故への関連性は認めらなかった。

### (3) 事故の原因（結論）

本事故は、左電源系統の供給電圧が何らかの理由で低下し、さらに、左電源系統の制御装置の故障によりこの異常を感知し補正すべきバックアップ機能も働かずに低下した電圧が供給され続けたため計器の異常や誤警報が発生したと推定される。これにより誤った情報を与えられた操縦者は、正しい状況分析ができず、エンジンの排気温度の異常を知らせる誤警報により両エンジンの故障と判断せざるを得ず、最終的に緊急脱出を行い航空機は海没するに至ったものである。

なお、左電源系統の不具合が生じた原因については、海面衝突時の衝撃等による左発電機及び左電源系統の制御装置の損傷等のため、特定には至らなかった。

## 3 再発防止策等

今回の事故発生を受けて、既に、F-15型機全機について特別点検を実施（発電機や制御装置の点検も実施）し、機体の安全性を確保するとともに、今回のような電源系統の不具合が発生した場合の対処手順（左発電機をオフにすることにより、右の電源系統により電力供給が補完される）について、部隊等への周知を完了している。

今後、さらに再発防止に万全を期すため、対処手順について技術指令書に追記するとともに、電機系統のシステムの見直しについて検討する。

平成21年1月28日  
防 衛 省

米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）に関する  
平成21年度計画について

米軍再編に係る訓練移転に関する平成21年度の訓練計画について、下記のとおり予定しています。

記

- 1 平成21年度の米軍再編に係る訓練移転については、タイプⅠ訓練12回程度、タイプⅡ訓練3回程度の実施を目標に計画する予定です。
- 2 なお、個々の訓練計画概要（訓練規模、訓練期日等）については、決まり次第、関係自治体等にお知らせします。

（参考）

タイプⅠ訓練 1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練

タイプⅡ訓練 1回につき6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練

訓練移転元の米軍飛行場（嘉手納、岩国及び三沢）

訓練移転先の航空自衛隊基地（千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原）

## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書

【 訓練期間 平成20年12月8日 (月)

~平成20年12月12日 (金) 】

平成21年2月

苫 小 牧 市

## 目 次

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）一覧	1
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過	2
米軍再編に係る千歳基地における訓練移転（共同訓練）について （11月17日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	6
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について （11月28日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	11
地域説明会の開催結果について	15
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会 質疑応答	16
千歳基地における日米共同訓練の実施内容について	19
訓練期間中の苦情・問い合わせ結果について	20
訓練移転に伴う騒音測定結果について	21
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会（訓練検証）の結果	29
検証結果	32

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）一覧

訓練月日		参加部隊	参加規模	演練項目	訓練空域	訓練回数	米軍人の外出
1	H20. 2. 25～H20. 2. 28	海軍第12飛行大隊に所属する派遣海軍部隊（岩国）	タイプI訓練 FA-18×4機 人員 13名	戦闘機戦闘訓練等	三沢東方空域 秋田西方空域	2回	なし
2	H20. 12. 8～H20. 12. 12	第18航空団（嘉手納）	タイプI訓練 F-15×5機 人員 72名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	5回	あり

## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過

【 訓練期間：平成20年12月8日（月）～12日（金） 】

- H20. 11. 17（月）
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会及び幹事会開催正式連絡
  - ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会及び幹事会開催（北海道防衛局）
  - ・苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
  - ・市長記者会見
  - ・ホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
  - ・訓練概要を市議へ連絡
- H20. 11. 18（火）
- ・苫小牧市航空機騒音対策協議会開催案内送付
- H20. 11. 20（木）
- ・全戸配布用「お知らせ」業者依頼（とまみん、日通：25日から配布）
- H20. 11. 21（金）
- ・商工会議所、町内会連合会へ説明
  - ・地域説明会日程を「市役所だより」へ掲載依頼
- H20. 11. 28（金）
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会及び幹事会及び千歳基地に係る米軍航空機事故等連絡会議開催正式連絡
  - ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会及び幹事会開催（北海道防衛局）
  - ・千歳基地に係る米軍航空機事故等連絡会議開催（北海道防衛局）
  - ・市長記者会見
  - ・ホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
  - ・詳細通知を市議へ連絡
- H20. 12. 1（月）
- ・商工会議所、町内会連合会へ詳細通知持参
  - ・医師会、警察署ほか関係機関に対し、詳細通知持参し協力依頼
  - ・苫小牧市航空機騒音対策協議会開催（沼ノ端リサイクルプラザ）



- H20. 12. 2 (火)
  - ・総合開発特別委員会開催
  - ・北海道防衛局より、現地説明会開催の正式案内がある
  
- H20. 12. 3 (水)
  - ・植苗地区地域説明会 (植苗ファミリーセンター)
  
- H20. 12. 4 (木)
  - ・沼ノ端地区地域説明会 (沼ノ端コミュニティーセンター)
  
- H20. 12. 5 (金)
  - ・勇払地区地域説明会 (勇払公民館)
  - ・苫小牧市在日米軍再編問題対策会議協議部会 (企画調整部、環境衛生部) 開催
  - ・航空自衛隊千歳基地内に北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置
  
- H20. 12. 6 (土)
  - ・民航機にて米軍の要員 15 名が千歳基地に到着
  
- H20. 12. 7 (日)
  - ・民航機にて米軍の要員 1 名が千歳基地に到着 (13 : 00 到着)
  - ・民航機にて米軍の要員 1 名が千歳基地に到着 (15 : 20 到着)
  
- H20. 12. 8 (月)
  - ・現地説明会開催
  - ・民航機にて米軍の要員 32 名が千歳基地に到着 (13 : 40 到着)
  - ・米軍 F-15×5 機 (パイロット 5 名) 千歳基地到着 (14 : 00 到着)
  - ・米軍 C-17 輸送機千歳基地到着 (15 : 00 到着、訓練関係要員 4 名到着)
  - ・民航機にて米軍の要員 13 名が千歳基地に到着 (18 : 00 到着)
  - ・米軍 C-17 輸送機千歳基地離陸 (18 : 10 離陸)
  
- H20. 12. 9 (火)
  - ・市職員 2 名、航空自衛隊千歳基地内へ (~12 日)
  - ・午前、午後各 1 回の訓練を予定している旨の通知がある
  - ・午前、米軍機 (F-15×4 機)、自衛隊機 (F-15×4 機)  
北海道西方空域において訓練
  - ・午後、米軍機 (F-15×4 機)、自衛隊機 (F-15×4 機)  
北海道西方空域において訓練
  
- H20. 12. 10 (水)
  - ・午前、午後各 1 回の訓練を予定している旨の通知がある
  - ・民航機にて米軍の要員 1 名が千歳基地より帰還 (7 : 00)

- ・ 午前、米軍機 (F-15×4 機)、自衛隊機 (F-15×4 機)  
北海道西方空域において訓練
  - ・ 民航機にて米軍の要員 2 名が千歳基地に到着 (13 : 40 到着)
  - ・ 午後、米軍機 (F-15×4 機)、自衛隊機 (F-15×4 機)  
北海道西方空域において訓練
- H20. 12. 11 (木)
- ・ 午前、午後各 1 回の訓練を予定している旨の通知がある
  - ・ 午前、米軍機 (F-15×4 機)、自衛隊機 (F-15×4 機)  
北海道西方空域において訓練
  - ・ 午後に予定されていた訓練は、天候上の理由で中止となる
  - ・ 本日実施された訓練をもって、千歳基地での訓練は終了したと、併せて  
12 月 8 日に C-17 輸送機で到着した米軍の人員について 4 名から 5 名  
への訂正がある。
  - ・ 民航機にて米軍の要員 1 名が千歳基地より帰還 (12 : 40)
- H20. 12. 12 (金)
- ・ 米軍 F-15×5 機 (パイロット 5 名) 千歳基地より帰還 (10 : 40 離陸)
  - ・ 民航機にて米軍の要員 35 名が千歳基地より帰還 (11 : 40)
  - ・ 民航機にて米軍の要員 17 名が千歳基地より帰還 (16 : 10)
  - ・ 市長記者会見
- H20. 12. 14 (日)
- ・ 米軍 C-17 輸送機千歳基地到着 (10:10 到着)
  - ・ 米軍 C-17 輸送機千歳基地離陸 (12 : 50 離陸、訓練関係要員 4 名帰還)
  - ・ 民航機にて米軍の要員 9 名が千歳基地より帰還 (16 : 40)
- H20. 12. 15 (月)
- ・ 民航機にて米軍の要員 2 名が千歳基地より帰還 (13:50)
  - ・ 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所
  - ・ 訓練終了をホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
- H20. 12. 16 (火)
- ・ 医師会、警察署ほか関係機関に対し、訓練終了の連絡
  - ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会及び幹事会開催連絡

- H20. 12. 18 (木) ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会及び幹事会開催 (北海道防衛局)
- H21. 1. 23 (金) ・苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催 (訓練結果報告)  
・訓練移転について空港港湾課、環境保全課合同の検証
- H21. 1. 28 (水) ・苫小牧市航空機騒音対策協議会開催 (訓練結果報告)

平成20年11月17日

北海道防衛局

**米軍再編に係る千歳基地における訓練移転(共同訓練)について**

米軍再編に係る訓練移転として、現在、千歳基地において12月上旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

現時点においては、タイプⅠ規模になる見込みです。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

(参考)

タイプⅠ：1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練

タイプⅡ：1回につき6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会での要請及び質問事項

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

千歳基地における在日米軍再編に係る日米共同訓練が12月上旬に実施される予定であるとの説明がありました。

訓練の期間や参加する部隊などの詳細な内容については、今後、改めて通知されるとのことですが、訓練の実施にあたっては、地元市民をはじめとする道民の不安や懸念を踏まえ、千歳市、苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、次の5項目について要請いたします。

記

- 1 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守していただきたい。
- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によることを確認していただきたい。
- 3 訓練の安全管理及び米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応をお願いしていただきたい。
- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表していただきたい。
- 5 訓練に参加する戦闘機に関し、整備・点検など安全確保に万全を期していただきたい。

## 北海道の個別要請

### ○ 住民対応について

訓練内容の説明などについては、地域住民や報道関係等からの求めに応じて、説明の場を設けるなど、地元の意向に沿った対応をお願いしたい。

## 千歳市の個別要請

- 1 市民の不安を払拭するためには、無事故が大前提となりますことから、どうか訓練の安全確保や、騒音、治安対策に万全の体制をとっていただきたい。
- 2 日米共同訓練に参加する米軍人が外出することを前提に、市内の飲食店関係等の皆様と、「情報の共有化」を図り、共通の理解のもと、緊急の連絡体制の確認などを含めた体制を整えることを目的に「連絡調整会議」を開催しており、前回同様に北海道防衛局から職員を派遣いただき、ご説明していただきたい。
- 3 今回の訓練に参加する米軍の部隊等が判明していたら教えていただきたい。

## 苫小牧市の個別要請

- 1 市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行っていただきたい。
- 2 市街地上空での低空飛行は行わないでいただきたい。
- 3 住民代表を含めた現地説明会を開催していただきたい。
- 4 米軍人の外出の有無など訓練に関する情報提供を速やかに伝えていただきたい。
- 5 現地連絡本部は、市民からの問い合わせ等には誠意を持って対応していただきたい。
- 6 訓練終了後の「検証」は必ず行っていただきたい。

## 回 答【 北海道防衛局 】

- ・ 協定については、平成19年1月26日に北海道防衛局と千歳市、苫小牧市と締結しているが、この内容を遵守し訓練移転を実施して行く。
- ・ 訓練移転の実施にあたっては、深夜早朝等の訓練、訓練空域、飛行経路、飛行方法等について、米軍機は航空自衛隊と同様の態様で実施する。
- ・ 米軍人の規律の維持については、防衛省としても平素から様々なレベルで米軍に対し申し入れは行っているが、今回、北海道防衛局としても米軍に対し申し入れを行いたいと考えている。
- ・ 訓練期間中の騒音測定については、前回同様に測定を実施し、その結果については速やかに公表したいと考えている。
- ・ 米軍機の安全確保については、訓練に参加する戦闘機は、平素から定期点検や飛行前、飛行後の点検を実施し、安全確保に努めておりますが、更なる安全確保、万全な安全確保について米側に求めたいと考えている。
- ・ 住民対応や情報提供については、前回同様、可能な限り対応したいと考えている。また、住民の方々から各種問い合わせがあらうかと想定しているが、その対応についても誠意を持って対応したいと考えている。

北海道防衛局の現地連絡本部は、調整中ではあるが24時間体制で臨む予定である。

説明会の具体的な内容については、今後検討させていただきたい。

千歳市から要請のあった「連絡調整会議」の出席についても今後検討させていただきたい。

- ・ 訓練終了後の検証については、前回も行っているが、具体的内容については前回は踏まえて検討したい。
- ・ 今回の訓練に参加する米軍の部隊等についての質問であるが、正式には決まった後、速やかに伝えたいと思っているが、現時点では嘉手納が有力な候補の一つだと聞いている。

平成20年11月17日

## 千歳基地における米軍再編訓練移転に係る慣熟飛行について

平成20年11月17日「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」  
にて北海道防衛局からの口頭説明

- 1 慣熟飛行とは、一般的に、飛行訓練を安全かつ円滑に実施するため、飛行場周辺の飛行要領や離着陸要領等を確認するために行われるものとされている。
- 2 具体的には、飛行場周辺の飛行要領の慣熟飛行としては進入経路等の確認があり、また、離着陸要領の慣熟飛行としてはタッチ・アンド・ゴーやロー・アプローチ等がある。
  - ※ タッチ・アンド・ゴーとは、航空機が着陸後、停止せずにそのまま加速して離陸する着陸訓練を言う。
  - ※ ロー・アプローチとは、航空機が予め着陸復行を意図した進入で、滑走路に接地せずに滑走路を通過し、再上昇する着陸訓練を言う。
- 3 慣熟飛行は、千歳基地における訓練移転においても同様であり、日米共同訓練の安全かつ円滑な実施のため、タッチ・アンド・ゴーやロー・アプローチ等が行われることがある。



平成20年11月28日  
北海道防衛局

米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転(共同訓練)  
に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、次のとおりお知らせします。

○期 日：平成20年12月8日(月)～12日(金)

○参加部隊：[米軍]

第18航空団(嘉手納)

[航空自衛隊]

第2航空団、北部航空警戒管制団

○使用基地：千歳基地

○演練項目：戦闘機戦闘訓練等

○使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域

○参加規模：タイプI訓練

[米軍]

F-15×5機程度

人員約70名(嘉手納)

※人員、器材等輸送のため輸送機が事前に飛来予定

[航空自衛隊]

F-15×6機程度

以上

## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会での要請及び質問事項

### 北海道の個別要請

11月17日の通知の際にも、千歳市、苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、協定の遵守など5項目について申し入れをさせていただきましたが、情報の提供が道民に対する安全・安心につながるということを特にお願いしております。

重ねてのお願いとなりますが、可能な限りの情報提供ということについてよろしくお願いいたします。

### 千歳市の個別要請

訓練全般の安全確保とともに、万一にも事件が発生しないよう米軍人の規律の維持について配慮いただきたい。

事前に機材を輸送するため輸送機が来ると聞いているが、輸送機の形式等が判っていれば教えていただきたいことと、展開・撤収の日程が判っていれば教えていただきたい。

パイロットを除く人員の輸送方法と、米軍関係者の宿泊場所、米兵の外出の可能性についてお聞きしたい。

### 苫小牧市の個別要請

11月17日開催の連絡協議会の際にも、北海道、千歳市、苫小牧市で構成する「連絡会議」として、訓練の安全管理はもとより、米軍人の規律の維持について要請したところではありますが、市民の不安や懸念を踏まえ、改め要請いたします。

3点ほど質問させていただくが、今回の訓練が、前回の訓練内容その他で異なるものはあるのか。

米軍人の外出について事前に情報提供をしていただけるのか。

現地説明会に、住民の代表の方についても出席できるのか。

## 回 答【 北海道防衛局 】

前回の協議会開催時（H20. 11. 17）に検討としたものについての補足説明

- ・ 住民の方々への対応や情報提供には、現地説明会は前回同様開催する。  
12月8日の午前中に実施する方向で検討している。  
詳細については、後日改めて連絡する。  
千歳市から話のあった「連絡調整会議」については、前回同様、職員を出席させる方向で考えており、詳細は後日連絡する。
- ・ 全般的な対応であるが、先遣隊というか物資・人員等が来る前に北海道防衛局の現地連絡本部を千歳基地内に設置し、各種情報提供や問い合わせなどに万全を期したいと考えている。

当日の要請及び質問事項に対する回答

- ・ 情報提供については、現地連絡本部を設置し情報提供に努めてまいりたい。
- ・ 現地説明会については、12月8日の午前中で調整したい。
- ・ 米軍の移動、機種や日程の関係については、戦闘機については12月8日から12日。人員や機材の輸送機については、現時点では明確になっていないが、輸送機についてはC-17ではないかと聞いている。  
パイロット以外の人員の輸送は、いま民航機で調整している。  
展開・撤収の具体的、詳細な情報については、セキュリティーの観点等がありまして、事前に概要は申し上げているが詳細については申し上げられないので、事後速やかにお伝えしたい。
- ・ 宿泊場所については、現在、訓練期間中は千歳基地内に宿泊する予定となっている。

- ・ 外出の可能性については、基本的にはこちらに展開してきた米軍の指揮官の判断で決まることで、現時点では確定的には申し上げられないが、出る可能性はあると考えている。その際は、当局として状況、必要性に応じて案内や通訳を行うとともに、飲食店街の巡回を行うなどして、トラブルの未然防止に努めたい。

外出に関する事前の情報については、セキュリティーの観点やプライバシーに関する事項でもあるので、事前に申し上げることは控えさせていただくが、北海道防衛局としては、先ほどお答えしております体制で臨みたいと考えている。

- ・ 訓練を実施する上での安全管理、安全確保については、日米を問わずであるが、訓練に参加する航空機については平素から点検整備、飛行前、飛行後の点検を実施している。常に安全確保について念頭に置いているが、改めて米側に求めて行きたいと考えている。
- ・ 米軍人の規律の維持については、防衛省としても平素から米側に対して教育や綱紀粛正の徹底を図ることについて、様々なレベルから要請を行っているが、北海道防衛局としても米軍に対し、千歳で申し入れを行いたいと考えている。
- ・ 訓練の内容は、前回の訓練と同様、戦闘機相互の間での空中戦の演練ということで、戦闘機戦闘訓練等でございます。
- ・ 現地説明会の出席者の関係について、住民代表は航路下の方々に構成している協議会の代表の方というのであれば、関係自治体の関係者という整理で進めさせていただく。

## 地域説明会の開催結果について

### 1 会場別出席者数及び質問者数

区 分	植苗・美沢地区	沼ノ端地区	勇払地区
日 時	H20. 12. 3 (水) 19:00～19:40	H20. 12. 4 (水) 19:00～20:10	H20. 12. 5 (金) 19:00～20:10
会 場	植苗ファミリーセンター	沼ノ端コミュニティセンター	勇払公民館
出席者数	22人(男17、女5)	31人(男31、女0)	11人(男10、女1)
質問者数	5人	10人	4人

#### ○三地区合計

出席者数 64人(男58人、女6人)  
質問者数 19人

### 2 三地区地域説明会における質問・意見等について

#### 【三地区共通で多く寄せられた質問等】

- ・ 訓練内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・18件(42.9%)  
(訓練回数、飛行コース、訓練空域、飛行高度、実弾搭載有無など)
- ・ 米兵の外出について・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件(11.9%)
- ・ 騒音問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件(7.0%)  
(騒音結果の公表、騒音の度合、F15とFA18の騒音の違いなど)
- ・ 築城基地所属F15の緊急脱出について・・・・・・・・・・3件(7.0%)

#### 【その他】

- ・ 国に対する要請について・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件(4.8%)
- ・ 安全保障政策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件(4.8%)
- ・ 防音対策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件(4.8%)
- ・ 洞爺湖サミットについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件(4.8%)
- ・ 沖縄負担軽減問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件(2.4%)
- ・ 再編交付金について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件(2.4%)
- ・ 鶴川町の騒音について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件(2.4%)
- ・ 矢白別の演習について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件(2.4%)
- ・ 米艦船寄港問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件(2.4%)

合 計 42 件

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会」質疑応答

平成20年12月8日開催

質 問 事 項	回 答
<p>米軍によるブリーフィング</p> <p>【 質問：中野副市長 】 訓練時期について、市の行事が入る日は避けていただきたいとお願いをしておりましたが、今回、市議会の日程と重なっているが、今後、避けていただけるのか。</p> <p>【 質問：中野副市長 】 本日は2回目の現地説明会で、今回は住民の代表の方も参加しているが、今後も住民の方を含めての説明会を継続していただけるのか。</p> <p>【 質問：松井議員 】 ① 今後、市議会開催中の訓練は如何されるのか、その返答がなかったように思いますので、考え方をお示し願いたい。 ② 訓練の開始時間について、2月の訓練時にもお願いしているが、航路下には社会福祉・学校・医療施設があり、訓練の時間が判れば事前にそれらの施設にも連絡、配慮ができると議会でも議論になっており、それが今回訓練以降可能かどうか、目途だけでもお知らせ願いたい。</p> <p>【 質問：丹羽植苗連合町内会長 】 千歳及び苫小牧市から、訓練に関わる要請</p>	<p>【 回答：米軍 】 今回の訓練について、航空自衛隊と調整し、騒音も含めましてできるだけ地元に影響がないようにということで調整を図っております。</p> <p>【 回答：米軍 】 是非、今後もやって行きたいと考えている。</p> <p>【 回答：米軍 】 ① 訓練移転については在日米軍、防衛省、地元の担当者とともにスケジュールしております。地元の影響を鑑みながら、地元に影響を少なく行うことで調整しております。今後も、それを念頭において調整してまいりたいと考えている。 ② F-15戦闘機の到着時刻、離陸時刻などを含めて、千歳基地の担当者の皆さんと調整しながら訓練を行っています。 正確な時刻を速やかにお知らせしていければというふうに考えております。</p> <p>【 回答：米軍 】 訓練移転の計画に関しては、横田基地の高</p>

質 問 事 項	回 答
<p>が行われているが、項目もそれぞれあるがこれが米軍に届いているのか。</p> <p>また、この約束を守るということを言明していただきたい。</p>	<p>いレベルで調整が行われており、地元の懸念を鑑みてこのような要請を受けながら、訓練の目的もありますので、できるだけ良い訓練を行いながら、地元でできるだけ影響を与えないような形で調整に関わった皆さんが考えて訓練を行っております。</p>
<p><b>訓練に転移係る説明会</b></p>	
<p>【 質問：矢農議員 】</p> <p>米兵の外出について、前回の5倍位の70名ほど来ますが、外出者全員に同行者が付くのは無理と思うが、どのような対策をとられるのか。</p>	<p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>外出する場合は、必要とか状況に応じて案内をしたり、通訳を支援したりするといったことと共に、繁華街におきましては巡回等を行うところであります。</p>
<p>【 質問：渡辺(満)員 】</p> <p>前は着陸が慣熟訓練だという回答がありましたが、今回はタッチ・アンド・ゴーを含めて慣熟訓練を行うのか。併せて実弾訓練は行わないと聞いているが、実弾は搭載しているのかどうか。</p>	<p>【 回答：二空団 】</p> <p>慣熟訓練そのものにつきましては、来て、それぞれの調整をしないと判らないと思っております。現在の時点では判明しておりません。</p> <p>どのような形で今日、嘉手納から入ってくるという情報はありませんが、今日来て明日から慣熟訓練等の必要があるのかどうかを確認してからでなければお応えできません。</p> <p>実弾の搭載についてはありません。</p>
<p>【 質問：西野議員 】</p> <p>千歳における嘉手納を始めとして移転訓練に参加するということに今回なっており、将来の共同訓練・演習のため使用拡大に取り組むと資料に記載されているが、共同訓練と演習というのはどう違うのか。</p> <p>沖縄の負担軽減ということが言われている</p>	<p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>将来に向けてとなっておりますが、私どもが聞いている範囲においては、千歳基地以外の自衛隊施設の訓練移転は現在計画はないと聞いております。</p> <p>(共同訓練と演習の違いは) 基本的には同じような訓練・演習、同じような概念として</p>

質 問 事 項	回 答
<p>が、どの程度の負担軽減になっているか、なかなかつかめていない。沖縄の負担軽減に係わる資料の提出をお願いしたい。</p> <p>【 質問：鳥越議員 】</p> <p>この説明会の時間の配分について、我々が十分にお話できない時間割になっている。説明のテーマをどのように考えておられるのか。</p> <p>今後、どのような形で説明会を続けていくのか。また、そのテーマを今回どのように考えておられるのか。</p>	<p>捉えております。</p> <p>(沖縄の負担軽減に係わる) 資料については持ち帰って検討いたします。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>この説明会をこれからどうするのかということにつきましては、今後、状況を見ながら決定したいと思っております。</p> <p>テーマということでございますが、今、行われております日米共同訓練、訓練移転の必要性について理解をいただくために考えて、テーマ、説明内容を決定させていただいたものであります。</p>



## 千歳基地における日米共同訓練の実施内容について

期 日	平成20年12月8日(月)～平成20年12月12日(金)
訓練回数	12月9日 午前1回・午後1回 いずれも、米軍機(F-15×4機)、自衛隊機(F-15×4機) 12月10日 午前1回・午後1回 いずれも、米軍機(F-15×4機)、自衛隊機(F-15×4機) 12月11日 午前1回 米軍機(F-15×4機)、自衛隊機(F-15×4機) <p style="text-align: right;">計5回</p>
参加部隊	米 軍：第18航空団(嘉手納) 航空自衛隊：第2航空団、北部航空警戒管制団
使用基地	千歳基地
演練項目	戦闘機戦闘訓練等
訓練空域	北海道西方空域
参加規模	タイプI訓練 米 軍：F-15×5機 パイロット5名・要員67名 計72名 航空自衛隊：F-15×4機 パイロット4名・整備要員外
米軍の移動関係	6日：要員15名 到着 7日：要員 2名 到着 8日：要員45名 到着 F-15×5機(パイロット5名) 到着 C-17輸送機1機 到着・帰還、要員5名 到着 10日：要員 1名 帰還 要員 2名 到着 11日：要員 1名 帰還 12日：F-15×5機(パイロット5名) 帰還 要員52名 帰還 14日：C-17輸送機1機 到着・帰還、要員4名 帰還 要員 9名 帰還 15日：要員 2名 帰還
米軍人外出状況	外出あり(千歳市内、札幌方面)
現 地 連絡本部	設 置：平成20年12月5日(金) 閉 所：平成20年12月15日(月)

## 訓練期間中の苦情・問い合わせ結果について

### 苫小牧市

区 分	苦情・問い合わせ等件数
12月9日(火)	0
12月10日(水)	2
12月11日(木)	0
合 計	2

#### 【 苦情・問い合わせ等の内容 】

- ・ ホームページの騒音測定結果の検索方法について。
- ・ FA18の事故が米国で起こった。市長は訓練の即時中止などを強く申し入れるべきではないか。

### 千歳市

苦情・問い合わせ等はなかった。

### 現地連絡本部

苦情・問い合わせ等はなかった。

# 訓練移転に伴う騒音測定結果について

平成20年12月8日(月)～12月12日(金)

- 1 騒音測定結果(苫小牧市臨時測定および北海道・苫小牧市常設局分)確定値
- 2 苫小牧市内航空機騒音常設局 WECPNL(うるささ指数)
- 3 国の常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果・常時測定結果(W値)
- 4 評価
- 5 騒音測定地点

1. 騒音測定結果(苫小牧市臨時測定および北海道・苫小牧市常設局分)確定値

【騒音測定結果】

(米):米軍機 (自):自衛隊機

日時・離着の別・機種		測定場所	最大ピーク騒音レベル(dB)																		
			苫小牧市臨時測定結果			苫小牧市常設局測定結果						北海道常設局測定結果									
			沼ノ端北5号公園	沼ノ端南7号公園	新明町5丁目ひまわり公園	植苗会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端東雲局	勇払東局		
12月8日	飛来のみ																				
	飛来	千歳側着陸	F-15(米)×5機 14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
訓練空域:北海道西方空域(C)																					
12月9日	1回目	苫小牧側離陸	F-15(自)×2機 8:48	-	-	-	72	75	73	-	-	72	-	77	70	63	-	-	-	-	
			F-15(自)×2機 8:56	-	-	63	72	80	76	64	70	76	73	76	74	69	78	-	-	71	-
			F-15(米)×2機 9:17	-	-	70	73	76	75	-	64	79	71	73	72	65	75	-	-	66	-
			F-15(米)×2機 9:26	-	-	9:18:49 9:28:08	9:18:37	9:18:25	9:18:38	-	9:19:04	9:18:31	9:19:00	9:18:26	9:18:52	9:18:33	9:18:47	-	-	9:18:37	-
	千歳側着陸	F-15(自)×2機 10:17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×2機 10:31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(米)×2機 10:33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(米)×2機 10:36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2回目	苫小牧側離陸	F-15(自)×2機 13:39	-	-	-	76	79	78	-	74	77	71	75	70	69	74	-	-	66	-
			F-15(米)×2機 13:46	64	63	82	69	73	71	64	67	69	67	-	66	-	69	-	65	-	
			F-15(米)×2機 13:48	13:47:42	13:47:49	13:47:39	13:47:17	13:47:14	13:47:27	13:47:54	13:47:21	13:47:05	13:46:52	-	13:47:18	-	13:47:20	-	13:47:20	-	
			F-15(米)×2機 13:53	67	63	78	71	75	74	-	65	72	75	72	70	63	72	-	68	-	
千歳側着陸		F-15(自)×2機 14:53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(米)×2機 14:56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×2機 14:59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(米)×2機 15:02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
訓練空域:北海道西方空域(C)																					
12月10日	1回目	千歳側離陸	F-15(自)×4機 9:08	-	-	-	66	66	74	-	-	67	-	74	-	64	-	-	-		
			F-15(米)×4機 9:18	-	-	-	65	71	-	-	-	-	73	-	-	-	-	-	-		
		苫小牧側着陸	F-15(米)×2機 10:30	87	93	-	65	73	64	85	89	68	87	-	74	-	79	-	96	-	
			F-15(米)×2機 10:35	10:26:06	10:26:05	-	67	74	-	74	66	74	68	-	78	-	77	63	70	64	
	千歳側離陸	F-15(自)×4機 10:37	80	86	-	64	71	66	73	83	65	78	66	70	-	82	69	80	67		
		F-15(自)×4機 13:45	10:34:09	10:33:01	-	10:34:07	10:34:09	10:33:31	10:34:11	10:32:37	10:33:31	10:34:07	10:33:11	10:33:25	-	10:33:58	10:33:54	10:34:04	10:32:45		
		F-15(米)×4機 13:50	-	-	-	-	-	65	68	-	63	-	70	-	-	-	-	-	-		
		F-15(米)×4機 15:05	-	-	-	-	-	68	-	-	71	-	13:45:18	-	-	-	-	-	-		
	2回目	苫小牧側着陸	F-15(自)×1機 14:23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			F-15(自)×3機 14:58	69	-	-	63	68	-	68	66	70	75	-	74	-	79	-	73	-	
千歳側離陸		F-15(米)×4機 15:05	14:54:33	-	-	14:54:45	14:54:49	-	14:54:08	14:54:10	14:54:24	14:54:29	-	14:54:15	-	14:54:28	-	14:54:16	-		
		F-15(米)×4機 15:09	70	69	-	67	77	65	79	70	75	76	-	74	-	82	66	77	67		

【騒音測定結果】 (米):米軍機 (自):自衛隊機

測定場所 日時・離着の別・機種			最大ピーク騒音レベル(dB)																		
			苫小牧市臨時測定結果			苫小牧市常設局測定結果						北海道常設局測定結果									
			沼ノ端 北5号公園	沼ノ端 南7号公園	新明町5丁目 ひまわり公園	植苗会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端 東雲局	勇払東局		
12月11日	1回目	千歳側 離陸	F-15(自)×4機 8:56	-	-	-	64 8:57:46	65 8:57:31	67 8:57:44	-	-	65 8:57:52	62 8:57:49	66 8:57:56	-	-	-	-	-	-	
			F-15(米)×4機 9:13	-	-	-	-	-	63 9:14:16	-	-	64 9:14:31	-	-	-	-	-	-	-	-	
	苫小牧側 着陸	F-15(自)×4機 10:15	71 10:11:28	66 10:10:44	-	67 10:11:50	72 10:11:53	66 10:11:54	75 10:10:45	74 10:10:40	72 10:11:49	85 10:10:44	-	77 10:10:58	70 10:10:51	83 10:11:24	-	82 10:10:37	-		
		F-15(米)×2機 10:24	70 10:21:46	79 10:21:52	-	-	70 10:22:35	-	-	80 10:21:30	-	79 10:21:53	-	70 10:22:37	-	78 10:22:40	64 10:20:49	69 10:22:10	-		
		F-15(米)×1機 10:41	69 10:29:52	82 10:29:40	-	-	-	-	-	76 10:29:39	-	74 10:30:04	-	-	-	83 10:30:26	65 10:29:34	71 10:29:51	70 10:29:34		
		F-15(米)×1機 10:43	83 10:30:26	85 10:30:22	-	-	73 10:31:09	-	73 10:30:28	87 10:30:25	-	81 10:30:26	-	-	-	72 10:30:58	74 10:30:17	77 10:30:25	74 10:30:09		
		2回目	天候上の理由により中止																		
	12月12日	掃選のみ																			
		掃選	千歳側 離陸	F-15(米)×5機 10:31	-	-	-	64 10:32:03	-	64 10:32:47	-	-	-	-	71 10:31:57	-	-	-	-	-	-
	最高値	F-15(米)	苫小牧側離陸時	67	63	82	73	76	75	64	67	79	75	73	72	65	75	-	66	-	
苫小牧側着陸時			87	93	-	67	77	65	85	89	75	87	-	78	-	83	74	96	74		
F-15(自)		苫小牧側離陸時	-	-	63	76	80	78	64	74	77	73	77	74	69	78	-	71	-		
		苫小牧側着陸時	80	86	-	67	72	66	75	83	72	85	66	77	70	83	69	82	67		
F-15(米) 国の騒音推定値	苫小牧側離陸時	/	/	/	75	85	/	/	83	/	88	/	/	/	90	73	/	75			
	苫小牧側着陸時	/	/	/	58	72	/	/	80	/	84	/	/	/	82	66	/	61			
【参考値】																					
平成19年度 (年間)	最高値		-	-	-	94	100	94	94	105	96	100	92	94	91	105	97	101	97		
	平均		-	-	-	76	77	75	76	77	76	78	75	77	76	77	75	76	76		
前回訓練移転 (H20.2)	最高値	FA-18(米)	93.5	92.0	64.5	79	87	81	83	96	85	99	77	85	78	91	80	89	81		
		F-15(自)	80.5	81.5	69.0	81	85	80	80	81	83	83	77	82	78	83	75	82	76		

- 備考 ① 測定値は、60dB以上の音が5秒以上継続したデータです。  
 ② 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。  
 ③ 上記表中の騒音値時間は最高値の発生時刻を表しています。  
 ④ 確定値は訓練期間中発表した「速報値」を後日、国・道のデータ及び1機ごとの飛行情報等を含めて精査した結果であり、「速報値」とは異なる部分があります。  
 ⑤ 平成19年度(年間)の測定値は、70dB以上かつ5秒以上の自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。(市・道の騒音測定の通常の取り扱いと同様)

## 2. 苫小牧市内航空機騒音常設局 WECPNL(うるささ指数)

局舎名 測定日		苫小牧市常設局					北海道常設局								
		植苗会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端東雲局	勇払東局
訓練移転期	12月8日	57	65	58	53	61	63	65	57	59	54	67	48	63	52
	12月9日	62	69	64	61	60	68	65	62	65	60	68	53	63	45
	12月10日	60	71	49	68	73	71	72	52	72	48	71	65	72	65
	12月11日	53	74	57	66	66	71	68	52	72	49	66	64	65	62
	12月12日	-	70	60	65	66	69	68	57	71	48	66	65	68	63
平成19年	12月 日最大W値	66	74	67	67	70	71	70	65	73	63	71	67	66	71
平成20年 直近3ヶ月	9月 日最大W値	64	76	64	67	69	71	77	64	73	60	70	67	69	66
	10月 日最大W値	65	75	65	70	74	72	73	64	73	62	71	66	69	64
	11月 日最大W値	65	74	65	68	70	72	71	67	73	65	71	66	69	64

※ WECPNL(加重等価平均感覚騒音レベル)

一般に『うるささ指数』と呼ばれることもあり、特に夜間の騒音を重視して、騒音の強度のほかにその頻度、継続時間帯の諸要素を加味して、航空機騒音の特徴をよく取り入れた1日当たりの総騒音量の単位であり、環境基準の評価単位として採用されている。

- 備考
- ① 測定値は、70dB以上かつ5秒以上の自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。(市・道の騒音測定の通常取り扱いと同様)
  - ② 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。
  - ③ 訓練移転期間中及び平成20年度のW値は参考値です。

3. 常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所			常時測定局(ピーク騒音レベル(dB))					臨時測定点(ピーク騒音レベル(dB))									
				千歳市					千歳市					苫小牧市				
				A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8		
				沼ノ端局	寿局	住吉局	郡局	青葉局	栄広中 公園	武運船	千歳重調	青葉丘 町内会館	北新 コミセン	植苗南 町内会 集会所	清流公園	勇払9号 公園		
機種・飛行時刻																		
12月8日	移動	午後	着陸	F15×5機 (米軍機)	—	79.8	90.6	85.3	90.0	86.0	85.0	82.7	92.0	68.9	—	—	—	
12月9日 訓練 1日目	午前	離陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77.1	72.8	70.0	
			F15×4機 (米軍機)	71.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.2	70.0	—	
		着陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	74.0	91.5	81.8	89.2	72.1	74.0	80.3	89.0	—	—	—	—	—	—
			F15×4機 (米軍機)	—	82.4	85.6	85.0	85.6	69.5	77.2	79.6	86.5	—	—	—	—	—	—
	午後	離陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77.5	69.6	—	
			F15×4機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73.0	72.4	—	
		着陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	—	93.0	77.6	91.5	74.8	74.7	77.5	94.8	—	—	—	—	—	—
			F15×4機 (米軍機)	—	—	83.9	88.6	85.7	71.8	78.8	91.0	86.0	—	—	—	—	—	—
12月10日 訓練 2日目	午前	離陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	89.1	95.4	85.1	99.6	93.1	90.7	86.2	99.3	86.8	—	—	—	—	
			F15×4機 (米軍機)	—	88.6	98.3	88.2	99.6	94.2	92.0	90.7	99.8	81.0	—	—	—	—	
		着陸	F15×4機 (自衛隊機)	82.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69.5	90.7	70.4	
			F15×4機 (米軍機)	86.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73.7	90.0	77.8	
	午後	離陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	90.0	95.3	82.7	98.1	93.1	95.2	84.8	97.5	83.2	—	—	—	—	
			F15×4機 (米軍機)	—	92.0	100.8	84.0	103.2	95.9	93.0	87.9	103.5	89.4	—	—	—	—	
		着陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67.3	74.4	—	
			F15×4機 (米軍機)	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74.0	76.2	—	
12月11日 訓練 3日目	午前	離陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	88.7	93.1	84.0	98.3	91.5	87.7	86.0	97.3	78.8	—	—	—	—	
			F15×4機 (米軍機)	—	91.7	100.7	85.0	107.7	98.5	92.0	88.9	104.7	82.2	—	—	—	—	
		着陸	F15×4機 (自衛隊機)	72.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73.3	82.1	—	
			F15×4機 (米軍機)	79.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	83.7	79.4	66.9	
12月12日	移動	午前	離陸	F15×5機 (米軍機)	—	85.8	99.2	86.3	102.6	93.0	90.6	92.8	101.9	78.5	—	—	—	

## 常時測定結果 (W値)

○日米共同訓練に参加した自衛隊機、米軍機並びに訓練以外のすべての航空機から算定した数値

測定場所 測定日		WECPNL (W値)				
		苫小牧市	千歳市			
		A	B	C	D	E
		沼ノ端局 (75W以上80W未満)	寿局 (80W以上85W未満)	住吉局 (85W以上90W未満)	都局 (75W以上80W未満)	青葉局 ※ (90W以上95W未満)
訓練移転 期間	12月8日	61.9	71.4	76.8	67.1	78.3
	12月9日	61.6	72.5	80.9	73.6	80.3
	12月10日	73.4	76.1	82.5	70.1	87.9
	12月11日	65.8	74.2	80.4	65.3	86.3
	12月12日	66.9	74.3	81.4	64.8	85.0

平成19年	12月 最大W値	71.6	77.1	82.9	75.0	-
平成20年 過去3ヶ月	9月 最大W値	70.1	78.4	89.5	78.7	91.0
	10月 最大W値	73.9	77.6	89.1	75.3	88.5
	11月 最大W値	72.2	76.9	88.8	74.7	89.6

※ 青葉局については、平成20年4月から運用開始

### WECPNL (W値) とは

航空機騒音の「うるささ」を表す単位であり、発生時間帯（昼間、夕方、夜間）など諸要素を加味した総合的評価指数。「加重等価継続感覚騒音レベル」のこと。



## 評 価

### ○騒音測定結果について

苫小牧市、北海道の各常設局における測定値については、全て、平成19年度の当該局の最高値を下回っていました。

※ 今回の臨時局を含めた訓練移転での米軍機及び自衛隊機の最高値

F15(米軍機)	沼ノ端東雲局(道)	96dB(12/10 1回目着陸時)
F15(自衛隊機)	沼ノ端清流公園(国臨時)	90.7dB(12/10 1回目着陸時)

### ○国の推定値(F15(米軍機)の離着陸時騒音)との比較について

苫小牧側離陸時 : 推定値のある7局中、騒音の観測のあった5局で、2~16dB下回っていました。

苫小牧側着陸時 : 推定値のある7局で、1~13dB上回っていました。

### ○WECPNL値(うるささ指数)について

苫小牧市、北海道、国の各常設局における日W値については、前年同月及び直近3ヶ月の日最大値と比較して、沼ノ端東雲局(道)の12月10日分が3W上回っていましたが、他の日W値は、同等ないし下回っていました。



## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会（訓練検証）の結果

### 北海道

- ・ 千歳市、苫小牧市、北海道の騒音測定結果を見ても、自衛隊による訓練時とおよそ同じ結果と聞いている。
  - ・ 今後の訓練においても
    - ① 千歳市、苫小牧市と北海道防衛局との間の協定の遵守。
    - ② 訓練日程の早期通知など、適切な情報提供。
    - ③ 事件・事故が発生しないよう、安全対策に万全を期すこと。
- などについてよろしく願いたい。
- ・ 今回の訓練に使用された機種とは違うが、米国では12月9日にF A-18戦闘機が住宅地に墜落する事故を起こしていることから、今後においても整備・点検に万全を期していただきたい。
  - ・ 今回、米軍人の外出があったが、自治体へはセキュリティ及びプライバシーの関係から、事後の問い合わせのみに答えるということであるが、警察など関係機関には適切な情報提供を行うなど、可能な限りの情報提供に努めていただくよう要望いたします。

### 千歳市

- ・ 今回の訓練は、協定の遵守をはじめとして、訓練の2段階通知による事前公表、国設置の連絡協議会の開催ほか、市民等の対応窓口となる現地連絡本部の設置など、これまで国と協議してきた事項について、適切に実行されたものと受け止めている。
- ・ 訓練期間中の事件・事故などの報告もなく、騒音測定の速報値などの数値も自衛隊機と米軍機とでは、大きな差異がない結果となっている。
- ・ 今後とも、市民の安心・安全確保のため、様々な対応について特段の配慮を改めて願います。

## 苫小牧市

- ・ 今回の訓練も、市議会と日程が重なったことから、今後については市議会をはじめとする、特に静穏を要する全市的行事には、訓練の自粛をお願いしたい。
- ・ 現地説明会、米軍のブリーフィングについては、住民代表の参加を含め今後も継続していただきたい。また、限られた時間とは理解しているが、質問の時間を長くしていただくよう配慮願いたい。  
なお当日、市議会議員より要請しておりました「沖縄の負担軽減」についての資料の提出をお願いしたい。
- ・ 国設置の騒音臨時測定局については、今後の訓練時も同位置で継続していただきたい。
- ・ 今回参加した米軍人について、パイロット・連絡要員・整備要員などの内訳を教えてください。
- ・ 米軍人の外出先及び案内、通訳の状況、巡回の有無等について教えてください。

## 回 答【 北海道防衛局 】

- ・ 協定の遵守については、今後も協定に基づいて訓練移転を実施して行く。
- ・ 適切な情報の提供については、今後とも皆様方や報道機関への情報提供に努めてまいります。
- ・ 事件・事故、航空機の安全対策については、防衛省として平素から米側に対し、教育の徹底や綱紀粛正の徹底について様々なレベルで申し入れを行っている。  
また、北海道防衛局としても今回の訓練移転に際しても申し入れを行っており、今後も米側に求めて行きたいと考えている。
- ・ F A - 1 8 の事故の件については、日本においても F A - 1 8 が所在する基地があるので、防衛本省から外務省を通じて事故原因を聞いた上で、安全管理の徹底について申し入れを行っていると聞いている。
- ・ 整備点検については、今回も米側に求めており、今後も同様な趣旨で米側に要請して行きたいと考えている。
- ・ 市議会中等の訓練の自粛ということについては、基本的に訓練は各部隊の訓練所要や日米それぞれの訓練所要など、訓練スケジュール等を考慮して日米間で協議の上、決定されるということをご理解願いたい。

- ・ 現地説明会については、その時の状況を見て判断したい。また、米軍のブリーフィングについては、今回、状況を説明した中で米側から行いたいということで実施したことを付け加えさせていただく。
- ・ 沖縄の負担軽減については、少なくとも今回、千歳で実施された分については沖縄の負担軽減ではないかと考えている。これの資料等については本省とも相談させていただく。
- ・ 騒音測定については、要望を踏まえて検討させていただく。
- ・ 訓練に参加した米軍人の内訳ですが、パイロット、整備員、保安、広報、ロジスティックスの後方等の支援要員ですが、詳細については部隊の運用体制のこともあり申し上げられない。
- ・ 米軍人の外出については、外出先については千歳市内及び札幌方面と承知している。

対応としては、通訳を通じて目的地や近傍地まで案内をしたりなどしている。

巡回については、現地警察との調整をし、繁華街など米軍の展開から撤収まで、継続的に巡回を実施しました。警察との関係であります。事前に様々な情報交換をし、訓練期間中は連絡調整の窓口を一本化して連携を図るといった措置をとっております。

前回の協議会で、米軍人はどこに滞在するのかという質問があり、基地内を予定していると回答いたしましたが、米軍機の輸送機の都合、航空自衛隊の訓練の予定、都合がありまして後半の2泊、若干名、部外のホテルに宿泊したことをこの場で説明させていただきます。

## 検 証 結 果

- ・ 前回同様、国が設置した連絡協議会の開催のほか、直接市民との対応窓口となる現地連絡本部が設置され、また、訓練計画の通知も2段階であり、地域説明会の開催など事前準備を予定どおりに行うことができた。
- ・ 住民代表も参加しての現地説明会、米軍によるブリーフィングが開催された。
- ・ 庁内の情報伝達方法について、情報ごとに整理されスムーズな伝達を行うことができた。
- ・ 今回、医師会、警察のほかに飲食店関係の組合、タクシー協会等へ協力要請をしたが今後も同じ対応が必要である。
- ・ 学校及び福祉施設等への情報提供について、担当課にお願いしたが、今後も継続する。
- ・ 航路下住民への周知について、既存の周知方法のほかに各町内会の回覧を活用したが、回覧制度のない町内会もあり、今後検討を要する。
- ・ ホームページの掲載は、公表書式等も整理されスムーズであった。
- ・ 航空自衛隊千歳基地内への派遣職員との連絡体制も良好であり、今後も継続して派遣したいと考える。
- ・ 訓練終了後の市長記者会見を行った。
- ・ 騒音測定結果については、自衛隊機と米軍機とでは大きな差異はなく、全て、平成19年度の当該測定局の最高値を下回っている。

### 苫小牧市航空機騒音対策協議会の意見

平成21年1月28日、苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催し、訓練概要についての報告を行ったが意見はなかった。



平成21年 2月13日  
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転(共同訓練)  
に関する訓練計画概要の地元通知について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、以下のとおり、九州防衛局が、本日、新田原基地関係地方公共団体(新富町、西都市、宮崎市、高鍋町、木城町、宮崎県)に対し通知することとしておりますので、お知らせします。

○期 日：平成21年2月23日(月)～27日(金)

○参加部隊：〔米軍〕  
第18航空団(嘉手納)  
〔航空自衛隊〕  
第5航空団、西部航空警戒管制団

○使用基地：新田原基地

○演練項目：戦闘機戦闘訓練等

○使用訓練空域：九州西方空域、四国沖空域

○参加規模：タイプI訓練  
〔米軍〕  
F-15×5機程度、人員約80名程度  
〔航空自衛隊〕  
F-4×6機程度

以 上

問い合わせ先：防衛省地方協力局提供施設課移設整備室長 遠藤  
TEL 03-3268-3111(内線36424)  
地方調整課訓練調整室防衛部員 中筋  
(内線36274)



北海道 防衛局  
平成 21 年 2 月 23 日

現地説明会における「沖縄の負担軽減」資料要求に係る口頭説明について

【口頭説明要旨】

- 1 米軍再編に係る嘉手納飛行場からの訓練移転については、これまで千歳、三沢、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において 8 回実施されております。  
この訓練移転に伴い、嘉手納飛行場周辺において航空機騒音等の地元の負担がどの程度軽減したかということについては、同飛行場周辺の騒音状況は、種々の変動要因があるため、現時点において評価できるような分析をするには至っておらず、お示しする資料は持ち合わせていない状況であると防衛本省から聞いております。
- 2 いずれにしても、現時点で訓練移転の実施により沖縄の地元負担がどの程度軽減されたかは確たることを申し上げられることは困難であります。嘉手納飛行場において実施されていた訓練が本土の自衛隊施設へ移転して実施されたことから、この間の分の航空機騒音は軽減されたものと考えております。
- 3 なお、訓練移転は、嘉手納飛行場以外の三沢飛行場や岩国飛行場を含めると、平成 18 年度から千歳、三沢、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において 14 回実施されてきております。防衛省としては、今後とも日米間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の運用に伴う地元負担の軽減を図るため、嘉手納飛行場をはじめ三沢飛行場や岩国飛行場といった米軍施設からの訓練移転が、着実に実施され、更なる地元の負担の軽減ができるよう努力して参る所存であります。